



予選レポート

2024/3/9 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：曇り/晴れ 気温：7℃ 出走台数：21台

例年よりひと月早く鈴鹿サーキットで開幕を迎える 2024 年全日本スーパーフォーミュラ選手権。昨年最終戦で優勝を飾った太田選手と、2月に行われた第1回公式テストで、4セッション中3セッションのトップタイムを記録した牧野選手は、共に好調な仕上がりでRd1鈴鹿サーキットの予選を迎えた。

気温7度、路面温度13度、冷たい北風が強弱を繰り返す中行われた予選は、タイヤ性能のピークをいかに引き出すか、タイヤの温め方がとても重要になるだろう。

ノックアウト第1予選、A組の太田選手は、予選開始すぐにユーズドタイヤでチェックランに向かい、残り6分でニュータイヤを履きコースに入った。太田選手は慎重にタイヤを温め、2計測周目にアタック。首位で第2予選へ進む。

第1予選B組の牧野選手もコースチェックの後ニュータイヤに交換。牧野選手は3計測周目にアタックのプランでコースに入った。ウォームアップを2ラップ行ってアタック。2位で第2予選へ。

太田選手、牧野選手は共に第2予選に向けてセットアップを修正。第1予選同様、太田選手は2計測周回目のアタック。牧野選手は3周回目のアタックと戦略が分かれた。

第1第2セクターで首位に僅かに遅れた太田選手は、第3セクターで取り戻すが0.09秒差で2位となる。一方牧野選手はセットアップの変更が思うように機能せず、第3セクターでタイムを伸ばすも8位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選8位 (第1予選B組2位 第2予選8位)

かなり寒いコンディションでしたが、フリー走行から第1予選と非常に良い感触でした。

第2予選においては路面コンディションの変化も見越して若干のセットアップ修正を行ったのですが、想定以上にバランスが変わってしまい8位で終える事となったのは、不完全燃焼な気持ちで残念です。

開幕予選からいいスタートを切りたかったのですが、明日の決勝で取り返したいです。

6：太田格之進 選手 予選2位 (第1予選A組1位 第2予選2位)

第1回公式テストからわずか2週間でしたが、チームと密に分析し鈴鹿に臨みました。

第2予選は自分的には過去最高のアタッカが出来、ポールポジションと思いましたがわずかに足りませんでしたね。

明日は去年の最終戦と同じ2番手からスタートです。最高のスタートを決めて、鈴鹿2連勝で終えたいです。